

## 海外自治体幹部交流協力セミナー2012（ロンドン事務所） 地方交流事業概要

### 【地方交流事業】

2月5日（火）【移動（東京→長崎県）／講義／長崎県副知事表敬】

(1) 長崎県副知事表敬

長崎到着後、県庁にて田中桂之助副知事を表敬訪問。

田中副知事からは、「西の端に位置する長崎は、鎖国後、イギリスとの交流のための条約を結んだ奉行所があり、イギリス領事館もあったところ。今回の訪問では離島、ホームステイなど長崎のことを知ってもらおうと共に、都市再生など意義深い意見交換ができるものと思う」といった話があった。

参加者団長からは、「滞在中に、長崎県の地方行政について学んでいきたい」という、挨拶がなされた。



田中桂之助副知事表敬訪

(2) 長崎県講義（行政説明）

長崎県の概要（天野企画振興部国際課長）

長崎県の歴史から、産業の発展までの概要について、説明がなされた。

(3) 視察： 長崎歴史文化博物館

長崎県の歴史を、写真や模型を通じて感じてもらい、長崎県への理解を深めてもらうきっかけとした。

(4) 歓迎レセプション

長崎県主催の歓迎夕食会が催された。長崎産の食材をふんだんに使った、懐石料理であった。地酒の日本酒などもいただきながら、長崎県と参加者の間では楽しく意見交換を行った。また、会場をホテル内にしていただいたこともあり、参加者達はゆとりをもって参加できたようであった。

2月6日（水）【長崎県講義／視察】

(1) 長崎県講義（行政説明）

① 長崎EV&ITEプロジェクト（産業労働部 鈴木政策監）

長崎県におけるEVの現状および今後の計画等について、説明がなされた。

② グリーンニューディール（ナガサキ・グリーンニューディール推進室 森田課長補佐）

浮体式洋上風力を中心に、海上政策などについて説明された。

③ 都市再生事業（企画振興部「まちづくり」平松参事監）

海上（客船、貨物）、陸上の輸送機関の活用、発展について説明がなされた。

(2) 視察

① 行政視察： 稲佐山山頂のパノラマを利用し、長崎市の地形を利用した産業の発展、状況を視察

② 平和記念公園、原爆資料館

映像等を通し、戦争の悲惨さ、両国の関わりなどを、改めて目の当たりにした。

(3) 歓迎レセプション

長崎日英協会主催による、夕食会が開催された。

イギリス(スコットランド)のバグパイプの演奏に迎えられ、地元の経済界の方々なども参加。総勢30名の、賑やかな懇親会であった。

2月7日(木)【長崎視察／五島へ移動】

(1) 長崎視察： グラバー園

イギリス人商人グラバーの館を視察。功績を称えながら、参加者が現在のイギリスの住居の佇まいなどを逆に説明してくれる場面もあった。

(2) EV・PHVタウンシンポジウム(五島)： 基調講演

経済産業省主催のシンポジウム、「地域から生まれるEV・PHVタウン」の代表として開催地となった五島での基調講演に参加。

(3) 五島市視察

① 堂崎教会、② 五島観光歴史資料館、③ 国際優秀椿園

隠れキリシタンの教会、五島の特産物である椿など、五島の歴史的背景を視察。

(4) 歓迎レセプション

五島市主催の歓迎夕食会。会場には、野口市太郎市長を筆頭に、ALT、CIRの皆さんも参加。参加者とともに、来日の経緯、滞在状況など外国人から見た五島についての意見交換も行った。

2月8日(金)【五島から長崎へ移動】

(1) 五島視察： 浮体式洋上風力発電(日本初)

海上タクシーにて海に浮かぶ風力発電を視察。建設に携わった戸田建設より説明を受ける。

(2) 五島視察： 旧五輪教会(世界遺産候補)

海上からでないといふ訪れることのできない、隠れキリシタンの教会。カトリックでは無い参加者だが、その思いの深さには感銘を受けていた。

(3) EV・PHVタウンシンポジウム： 体験参加

EVなどの試乗会に参加。静かで乗り心地の良いこと、小回りの効くこと、などの利点と共に、充電についての課題なども改めて感じていた。

(4) 合同意見交換会(長崎)

参加者・長崎県参加による意見交換会を実施。

日程も半ばを過ぎ、参加者全員から意見を発表。

と同時に質問も受け付け、長崎県に回答を求めた。

質問に答えるべく長崎県からは、各課より参加いただき、活発な意見交換が行われた。



合同意見交換会

2月9日(土)【長崎視察／ホームステイ】

(1) 視察： 孔子廟

長崎最大級のまつり「ランタンフェスティバル」の前夜祭の日、ということもあり街中に赤い提灯がかかり、飾り付けもきれいであった。日本にいながら、異文化を感じられた。

(2) ホームステイ体験

長崎国際交流協会、長崎日英協会協力のもと、ボランティアによる1泊2日のホームステイ体験を行った。



参加者とホストファミリー

2月10日(日)【長崎から平戸へ移動】

(1) 平戸概要説明／市内視察

長崎より到着後、平戸市の概要、イギリスとの関わり、「平戸英国商館設置400周年」事業についての説明を受けた。

その後、① 平戸城、② 三浦按針墓地、③ 平戸オランダ商館を視察。

初の来日イギリス人「三浦按針」墓地への献花、江戸時代情緒とともに、異国文化の雰囲気も残す街並みを視察。天守閣からは、海の青さ、景色の美しさに息をのんでいた。

(2) 平戸市長表敬

平戸オランダ商館にて、黒田成彦平戸市長を表敬訪問。

「歴史的にも関係の深い両国が、今後益々友好が深まるように」と言われた市長の言葉を受け、「この短い滞在の中にも、暖かい歓迎の気持ちを感じた」と参加者は歓待に対する感謝の意を伝えた。

(3) 歓迎レセプション

平戸市主催の歓迎夕食会が、宿泊ホテルで開催された。

温泉旅館でありながら、着席の和会席。話の輪は歴史、産業と花開いた。

2月11日(月)【平戸から東京へ移動】

(1) 「平戸英国商館設置400周年記念事業」除幕式、ひな祭り開会式・パレード参加

参加者全員が着物に着替え、記念行事に参加。

参加者は着物を着たことに感動し、地元では突然の来訪者(参加者)に一段と盛り上がりを見せた。

その状況はすぐに平戸市役所のSNSにアップされ、翌日(日曜日)には参加者の間で確認されていた。



記念事業式典参加

(2) 平戸市内視察

① 松浦資料博物館、② 幸橋・記念碑

江戸時代後期の武家の生活様式を視察。甲冑など「サムライ」の時代を、興味深げに見学した。

2月12日(日)【東京： 江東区】

(1) 「えこっくる江東」、「エコミラ江東」

「ゴミ再生」を都内で施設として見学できる、江東区を訪問。区民のゴミへの意識付けの姿勢は、参考になるものがあるようだ。また、「エコミラ江東」の身障者の雇用制度についても、自国の検討材料にするとのこと。

(2) 清澄白河庭園

大都会の真ん中の、緑豊かな和庭園。「癒やしの場所」と、都会の喧噪を忘れていたようであった。